

第66回 海洋教育フォーラム（広島）

広島県東部から見た 造船業と瀬戸内海



「海洋教育フォーラム」とは一般の方へ海洋への関心を持っていただくために、日本各地で毎年行われているイベントです。今回の広島開催のフォーラムでは、広島で行うフォーラムとして初めて、県東部の福山市で行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で、やむを得ずWeb開催となりました。会議では最先端の造船技術や瀬戸内海的环境について4人の登壇者に語っていただきます。今まであまり語られなかった広島県東部からの視点で造船業や瀬戸内海の自然についてみなさんと考えてみたいと思います。

日時：2020年12月6日（日）13：00～15：35

場所：オンライン開催となりました！（Teams予定）

対象：一般（定員80名）

参加費：無料（参加者には講演要旨集を郵送）

講演内容：※オンライン受付は12:30～

- 13：00～13：15 開会挨拶「うみのことをもっとみんなで知ろう」
（日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会 [協議中]）
- 13：15～13：45 国際環境条約と瀬戸内海船舶修繕業
（寺西 秀太，株式会社三和ドック代表取締役社長）
- 13：45～14：15 瀬戸内海発環境にやさしい船作り
（施 建剛，常石造船株式会社設計本部設計管理部長，
広島大学大学院先進理工系科学研究科客員教授）
- 14：15～14：30 休憩
- 14：30～15：00 瀬戸内海の成り立ちと魚類の遺伝的集団構造
（阪本 憲司，福山大学 海洋生物科学科准教授）
- 15：00～15：30 瀬戸内海の藻場観測技術の開発
（仲嶋 一，福山大学 スマートシステム学科教授，安全安心防災教育研究センター長）
- 15：30～15：35 閉会挨拶
（作野 裕司，第66回海洋教育フォーラム実行委員会委員長）



参加申し込み（要事前予約）：

下記のURLサイト、E-mail、Faxにてお申込みください。E-mail、Faxの場合、見出しに、「海洋教育フォーラム申込」と明記し、①氏名、②所属、③電話番号、④ E-mail アドレス（オンライン対応のため、携帯ではなく、パソコンのメールアドレスをお願いします）、⑤ご住所（パンフレット送付用）をご記入の上、以下のE-mailアドレス、またはFax番号にお送りください。締切は11/30(月)です。オンラインの参加方法は、お申し込み時に書かれたE-mailにWebアドレスをお送りしますので、クリックしてお入りください。当日は、12:30から受け付けます。

URL: https://www.iasnaoe.or.jp/isn-event/20201206_mecc_hiroshima/

E-mail: ocean@naoe.hiroshima-u.ac.jp

FAX: 082-422-7194



主催：日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会

共催：福山大学

広島大学大学院先進理工系科学研究科 輸送・環境システムプログラム

後援：福山市，尾道市，尾道市教育委員会